

サービス機能	A		B	C	D	E
	機能特有の部屋・設備	共通の部屋・設備	民間活用の可能性	効果的な他機能との組合せ	サービス供給量の方向性	配置レベル
 行政機能	<ul style="list-style-type: none"> ロビー、待合スペース 	(例) ・駐車場 ・駐輪場 ・空調設備 ・多機能トイレ ・エレベーター ・放送設備 ・ロビー ・喫茶室 ・託児室 ・授乳室 など	<ul style="list-style-type: none"> 行政への相談等は市本来の役割であるため、民間活用に適さない。 様々な手続きを受け付ける総合窓口（保谷保健福祉総合センター1階）の民間委託は困難と結論が出ている。 	商業施設との複合化の可能性あり	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には利用者数の減少が見込まれるが、市本来の役割であり、今後も変わらず求められるサービスである。 少子高齢化の進行など社会状況の変化に加え、国や東京都の事務・権限が市に移譲されるといったことから、市の役割の高度化・多様化が想定される。 情報技術の革新（オンラインやキャッシュレス機能）によりサービス提供の方法が変化していく可能性があるため、出張所の必要性は中長期的には低くなることが考えられる。 	市域
 図書機能	<ul style="list-style-type: none"> 書庫 開架室 レファレンス室（wi-fi機能） 閲覧室 グループ活動室 中庭、テラス 		<ul style="list-style-type: none"> 図書館法で「無料の原則」が示されており、委託された民間が利益を求めて図書館の管理・運営を行うことは困難と考えられる。 西東京市図書館計画（H31.3）で、図書館は直営により運営するとされている。 武蔵野大学とは、大学図書館の一般開放などの連携を行っているが、図書の貸出までは行っていない。 	集客を望む施設との複合化の可能性あり	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には利用者数の減少が見込まれるが、生涯学習機能、学校教育機能、子育て支援機能を補う重要な機能であり、20万都市にふさわしい資料の収容能力の不足が課題となっている。 近年の貸出者数の推移は横ばいだが、登録率の減少が続いており、移動図書館など来館以外の様々なサービスを検討する必要がある。 	市域
 生涯学習機能	<ul style="list-style-type: none"> 会議室 視聴覚室、音楽室（映像設備、防音設備） 調理室（調理設備） 工作室、陶芸室 		<ul style="list-style-type: none"> 地域の活性化、まちづくりの拠点等の役割を担っている。 今後の生涯学習機能の推進には、市民と行政の協働による地域の学習環境づくりが重要であることから、民間委託は適さない。 他市では、公民館の管理・運営を民間委託している事例がある。 	図書機能 貸館機能 子育て支援機能（児童館） 福祉機能（高齢者福祉施設）	<ul style="list-style-type: none"> 「学びを通じた人づくり・地域づくり事業の充実」などが市の最上位計画に位置付けられている。また、教育計画では、人生100年時代のなか、多様化する学習ニーズに対応するため、学びの機会の充実を図ることとしている。 市民同士の交流や市民と行政の協働によって、地域活性化が図られるため、必要な機能である。 	地域
 文化機能	<ul style="list-style-type: none"> 発表等を行うための舞台、観客席（照明設備、音響設備） 美術・工芸などの展示スペース 		<ul style="list-style-type: none"> 民間活用により、効率的なサービス提供、市民満足度の向上につながる。 	商業施設との複合化の可能性あり	<ul style="list-style-type: none"> 長期的には利用者数の減少が見込まれるが、市民意識調査では、文化芸術活動の充実に関する取組へのニーズが増加している。また、保谷こもれびホール等の利用頻度も高くなっている。 文化芸術活動の拠点として、20万都市にふさわしい一定規模以上のスペースを市が確保し、提供していくことが期待されている。 	市域（広域）
 貸館機能	<ul style="list-style-type: none"> 会議室 視聴覚室、音楽室（映像設備、防音設備） 調理室（調理設備） 工作室、陶芸室 		<ul style="list-style-type: none"> 民間活用により、効率的なサービス提供、市民満足向上に寄与すると考えられる。 民間の貸会議室、都営住宅の集会所などでも部屋の貸出を行っている。 地域型の市民交流施設は、地域住民で構成される団体に施設の管理・運営を委託している。 	様々な機能との複合化が想定される	<ul style="list-style-type: none"> 多くの公共施設が持つ機能であり、今後の人口減少社会も考慮すると、利用頻度の少ない施設が増加する可能性がある。 市民の地域活動の場を提供するサービスとして、今後も重要であると考えられる。 貸館機能を持つ施設は、どのような人がどのように利用しているのかといったことを改めて整理し、今ある施設の有効活用や適正なサービス量を検討する必要がある。 	地域

サービス機能	A		B	C	D	E
	機能特有の部屋・設備	共通の部屋・設備	民間活用の可能性	効果的な他機能との組合せ	サービス供給量の方向性	配置レベル
 学校教育機能	<ul style="list-style-type: none"> ・普通教室、特別教室 ・体育館、プール ・給食室、家庭科室（調理設備） ・音楽室（防音設備） 	（例） ・駐車場 ・駐輪場 ・空調設備 ・多機能トイレ ・エレベーター ・放送設備 ・ロビー ・喫茶室 ・託児室 ・授乳室 など	× <ul style="list-style-type: none"> ・義務教育を提供するサービス機能であるため、民間活用は適さない。 	図書機能 スポーツ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数学級や情報通信機器（パソコン・タブレットなど）を活用した学習のほか、特別支援教育の推進など教育環境の充実に向けた対応が今後も予想されるが、中長期的には年少人口の減少が見込まれる。 	地域
 子育て支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室 ・集会室 ・図書室 ・育成室（調理設備） ・学習スペース ・飲食スペース ・子育て広場（床暖房） ・医務室、静養室 		○ <ul style="list-style-type: none"> ・児童館や学童クラブではすでに民間活用を行っており、市では今後も拡大していく考えである。 ・児童発達支援センター（通所利用の障害児やその家族に対する支援などを行う施設）の設置を努力義務により求められているが、民間活用は適さない。 ・市内に同様のサービスを提供する民間施設はない。 	図書機能 文化機能 学校教育機能（小学校） スポーツ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的には利用者数の減少が見込まれるが、市民意識調査の結果では、重要度は高いものの、満足度は低くなっている。また、子どもの育ちと子育てに関する計画において、子育てひろば事業や地域子ども・子育て支援事業を充実していくこととしている。 ・学童クラブは、現状で不足しており、国の方針では、子どもの居場所を確保する際に放課後子ども教室との連携が求められていることから、小学校敷地内への設置に取り組む。 	地域
 保育機能	<ul style="list-style-type: none"> ・遊戯室（床暖房） ・調理室（調理設備） ・園庭 ・保育に必要なトイレ（幼児用、多機能） 		○ <ul style="list-style-type: none"> ・民間の認可保育園や保育施設は市内にも多くある。 ・地域の保育園の連携を図る役割は、民営保育園にはない。 	学校教育機能（中学校） 子育て支援機能（児童館、子ども総合支援施設）	<ul style="list-style-type: none"> ・短期的には、夫婦共働き世帯の増加等により、現状と変わらない需要が続くと考えられるが、中長期的には年少人口の減少によるニーズの低下が見込まれる。 ・一部の公設公営保育園は、地域の子育て支援の中心となる場である基幹型保育園としつつ、それ以外は民設民営化を進めていくことが考えられる。 	市域 ※基幹型保育園は地域
 福祉機能	<ul style="list-style-type: none"> ・健診の受診スペース（歯科ユニット等の健診機材） ・浴室、静養室 ・機能訓練室、トレーニングルーム ・機能回復訓練室、作業訓練室、生活訓練室（障害者サービス用） 		○ <ul style="list-style-type: none"> ・民間活用により、効率的なサービス提供、市民満足度の向上につながる。 ・市町村が直接運営することが義務付けられている場合がある。 	生涯学習機能（公民館） 子育て支援機能（児童館）	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的には、高齢化（障害者の高齢化含む）が進むと見込まれ、行政としての役割が多く求められる可能性が高い。 地域共生社会の実現に向けた検討や健康づくりの推進が市の最上位計画に位置付けられており、「健康」応援都市の実現のためには、今後もサービスの向上が必要である。 	地域
 スポーツ機能	<ul style="list-style-type: none"> ・グラウンド ・体育室（観客席） ・武道場 ・プール ・更衣室 		○ <ul style="list-style-type: none"> ・民間活用により、効率的なサービス提供、市民満足度の向上につながる。 ・市内に同様のサービスを提供する民間施設などがある。 	貸館機能	<ul style="list-style-type: none"> ・長期的には利用者数の減少が見込まれるが、屋内施設の利用状況は高水準であり、「健康」応援都市の実現に向けて、スポーツ需要増への新たな対応する必要がある。 ・同様のサービスを提供する民間施設などが多くあることから、行政が担うべき範囲を定め、スポーツ活動の中心となる場として一定規模以上のスペースを市が確保し、サービス提供していくことが期待される。 	市域（広域）